

第 438 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2020 年 7 月 29 日（水） 13 時～16 時

II. 場 所 ウェブ会議

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 基準諮問会議からの報告
- (2) IASB 公開草案「全般的な表示及び開示」へのコメントの検討
- (3) 取締役等の報酬等として金銭の払込み等を要しないで株式の発行等をする場合における会計処理の検討
- (4) 投資信託の時価の算定に関する取扱いの検討
- (5) リースに関する会計基準の開発

本企業会計基準委員会は、新型コロナウイルス感染症への対応として、「企業会計基準及び修正国際基準の開発に係る適正手続に関する規則」第 7 条第 1 項に基づき、一般の傍聴を認めないものとして非公開で開催した。また、同規則第 13 条に基づき、ウェブ会議で実施した。

なお、議事の録音は、財務会計基準機構のウェブサイトで一定期間確認可能である。

IV. 議事概要

（審議事項）

(1) 基準諮問会議からの報告

湯浅基準諮問会議議長より、第 39 回基準諮問会議（2020 年 7 月 27 日開催）において、企業会計基準委員会への新規テーマの提言がなかった旨の報告が行われた。また、基準諮問会議では、企業会計基準委員会の最近の活動状況についての質疑を行った旨が説明され、基準諮問会議で聞かれた意見を企業会計基準委員会の活動の参考にして欲しい旨が述べられた。

(2) IASB 公開草案「全般的な表示及び開示」へのコメントの検討

川西副委員長及び宮治アシスタント・ディレクターより、IASB 公開草案「全般的な表示及び開示」へのコメントの検討に関して、コメント案について説明がなされ、第 38 回ディスクロージャー専門委員会（2020 年 7 月 17 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(3) 取締役等の報酬等として金銭の払込み等を要しないで株式の発行等をする場合における会計処理の検討

矢農常勤委員、片山アシスタント・ディレクター及び宗延専門研究員より、これまでの審議で聞かれた意見から識別された追加的な論点として、段階的に権利が確定する場合の取扱い、開示の検討、及び実務対応報告公開草案の文案について説明がなされ、第 132 回実務対応専門委員会（2020 年 7 月 28 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(4) 投資信託の時価の算定に関する取扱いの検討

小賀坂委員長及び熊谷ディレクターより、これまでの審議で聞かれた意見を踏まえて更新した投資信託の時価の算定に関する事務局の提案について説明がなされ、第 155 回金融商品専門委員会（2020 年 6 月 18 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(5) リースに関する会計基準の開発

小賀坂委員長及び丸岡アシスタント・ディレクターより、リースの定義及び所有権移転ファイナンス・リースの取扱いについて説明がなされ、第94回リース会計専門委員会(2020年7月20日開催)における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

以 上